総務経済委員会　行政視察報告

議長　梶　　泰　久　様

総務経済委員会　委員長　小泉　宣子

令和８年 10 月 14 日（水）から 10 月 16 日（金）まで、総務経済委員会行政視察のため、千葉県松戸市、東京都港区、栃木県宇都宮市、宮城県大崎市に出張しましたので、その結果を以下のとおり報告します。

○　行　程

10 月 14 日（水）　三島駅➡品川駅➡松戸駅➡松戸市➡松戸駅➡大手町駅➡
御成門駅➡港区➡浜松町駅➡東京駅➡宇都宮駅➡宇都宮市泊
15 日（木）　宇都宮市➡宇都宮駅➡古川駅➡大崎市泊
16 日（金）　大崎市➡古川駅➡仙台駅➡東京駅➡三島駅

○　参加者〔計 12 人〕

・委　員９人　…　小泉宣子（委員長）、大川敬太郎（副委員長）、
井原三千雄、尾藤正弘、山下富美子、
深田昇、梶泰久、加藤明子、髙橋達也

・市当局２人　…　渡邉成彦（政策推進部長）、八木健一（産業振興部長）

・事務局１人　…　鈴木祐介（書記）

○　視察項目

１　千葉県　松戸市　　窓口受付時間短縮の取組について
２　東京都　港区　　執務環境改善の取組について
３　栃木県　宇都宮市　執務環境改善と行政ＤＸ推進の取組について
４　宮城県　大崎市　　世界農業遺産「大崎耕土」を活かした地域活性化と
誇りある地域づくりの取組について

○　松戸市

視察項目

『 窓口受付時間短縮の取組について 』

1　松戸市の概要

市制施行日　昭和 18 年４月１日

人　　口　500,395 人

面　　積　61.38 ㎢

県北西部に位置し、江戸川を挟んで東京都と隣接。江戸時代には水戸街道の宿場町また江戸川舟運の要衝として栄えた。高度成長期に東京のベッドタウンとして宅地化が進行。６路線 20 駅の鉄道網を有する。農業はホウレンソウやネギなどの野菜を軸に栽培。二十世紀梨の発祥の地とも言われる。発足から 50 年が経つ「すぐやる課」などの施策を実施。

2　「窓口受付時間短縮の取組について」視察

日　　時　：　令和８年 10 月 14 日（水）　10 時 30 分 ～ 12 時 00 分

会　　場　：　松戸市役所　委員会室

次　　第　：　⑴　小泉宣子委員長　挨拶

⑵　松戸市　説明

⑶　質疑応答

⑷　大川敬太郎副委員長　挨拶

3　視察内容

⑴　窓口受付時間短縮に至った背景と目的について

①　窓口受付時間短縮の検討を開始した背景

②　窓口受付時間短縮に期待する効果

③　窓口受付時間短縮に至るプロセス

ア　検討期間

イ　検討内容（短縮した時間の代替措置等）

ウ　短縮前の行政ＤＸの進捗状況

エ　議会への報告と賛同状況

オ　検討段階での課題

④　窓口受付時間短縮で見込む効果の数値目標設定の有無（残業の削減量等）

⑵　窓口受付時間短縮の実施内容について

①　短縮した受付時間の設定根拠

② 周知期間と方法
③ 休日窓口の設置等、新たに追加した取組

⑶ 行政ＤＸ活用について
① 導入・活用しているシステムの詳細
② 効果を実感しているシステム等
③ オンライン申請（電子申請）の浸透状況

⑷ 組織や職員への影響について
① 業務負担の軽減や満足度への効果
② 人員配置や組織体制への影響（人員の削減等を考えているか）
③ 窓口受付時間が終わった後の職員の業務への影響
④ 残業代の削減等の財政的な影響

⑸ 住民サービスについて
① 住民からの反響
② 待ち時間や手続き時間の変化
③ 住民サービスの質への影響
④ デジタルデバイドに対する取組

⑹ 課題と今後の展望
① 現時点で見えた課題
② 課題解決に向けた取組

以上の項目について、松戸市行政経営課、ＤＸ推進課、市民課より説明を受けた。

視察風景







○　港区

視察項目

『 執務環境改善の取組について 』

１　港区の概要

区制施行日　昭和 22 年３月 15 日

人　　口　267,780 人

面　　積　20.36 ㎢

北西部は武蔵野台地の高台、南東部は東京湾に面した低い沖積層地と芝浦海浜の埋め立て地で構成。虎ノ門、赤坂、六本木など再開発によるオフィス供給も活発で、昼間人口は 97 万人に達する。また人口の約８％に当たる約２万人の外国人が居住し、外国大使館の半数以上があり、外資系企業の本社も多い。青山、お台場、白金、麻布などの街や東京タワーが所在。

２　「執務環境改善の取組について」視察

日　　時　：　令和８年 10 月 14 日（水）　14 時 00 分 ～ 15 時 30 分

会　　場　：　港区役所委員会室

次　　第　：　⑴　小泉宣子委員長　挨拶

⑵　港区　説明

⑶　執務環境の現地視察

⑷　質疑応答

３　視察内容

⑴　改革の背景、目的および区民サービスへ想定される効果について

①　オフィス改革実施の経緯と具体的な課題

②　ワークスタイル変革により区民サービス向上に期待する効果

⑵　フリーアドレス制の導入内容と運用方法について

①　フリーアドレス制導入のプロセスとステップ

②　フリーアドレスの運用方法やルール（日々の席等）

③　担当者等への連絡方法（席が自由であると連絡手段はどうしているのか）

④　グループアドレス導入の目的と活用方法

⑤　職員の働きやすさへの効果

⑥　区民サービス向上への効果

⑶　ペーパーレス化とオフィス什器・備品の整備について

① ペーパーレス化推進の具体的な取組と効果（職員の意識等）
② デスクのサイズを小さくした意図と効果
③ 電動昇降テーブル導入による「立ち会議」の効果
④ モバコの導入理由と効果

⑷ 導入による業務効率、コミュニケーション、職場環境の変化について
① 職員間のコミュニケーションの変化（課員、上司とのやりとり等）
② 業務効率上昇の効果

⑸ 今後の課題、他部署への展開、将来的なオフィス構想について
① 現状のオフィス空間における不足機能や要素
② 集中執務スペース、接客スペース等、将来的な必要性
③ 他部署（個人情報取扱部署等）への展開における留意点
④ 将来的なオフィスや働き方の構想

以上の項目について、港区企画経営部区役所改革担当より説明を受けた。

視察風景







○　宇都宮市

視察項目

『 執務環境改善と行政ＤＸ推進の取組について 』

１　宇都宮市の概要

市制施行日　明治 29 年４月１日

人　　口　514,595 人

面　　積　416.85 ㎢

県のほぼ中央に位置し、江戸時代は宇都宮藩の城下町として栄えた。東北新幹線、東北自動車道鉄道各線が貫通。７つの工業団地が所在する北関東屈指の工業都市であり、行政・商業・金融機能が集積。８つの大学・短大が立地し、文教都市としての側面も持つ。次世代型路面電車（ＬＲＴ）の JR 宇都宮駅西側延伸は 2036 年開業予定。餃子のまちとして有名。

２　「執務環境改善と行政ＤＸ推進の取組について」視察

日　　時　：　令和８年 10 月 15 日（木）　10 時 00 分 ～ 11 時 30 分

会　　場　：　宇都宮市役所　委員会室

次　　第　：　⑴　宇都宮市議会　内藤良弘副議長　挨拶

⑵　小泉宣子委員長　挨拶

⑶　宇都宮市　説明

⑷　執務環境の現地視察

⑸　質疑応答

３　視察内容

⑴　執務環境改善の取組について

①　背景と目的

②　具体的な施策について

ア　生産性と業務効率の向上をもたらす執務空間の構築

(ｱ)　オフィスレイアウト

(ｲ)　文書の整理

(ｳ)　ペーパーレスの取組（削減量、削減で生まれたスペースの活用）

(ｴ)　導入した備品（机、椅子等）の意図と効果

③　組織や職員への効果

④　効果測定と評価

⑤　課題と今後の展望

⑴　行政ＤＸの取組について

①　ペーパーレスの取組に関する行政ＤＸの活用方法（紙を出さない取組）

②　庁内無線化の取組内容とその効果

③　その他、職員の執務環境改善のための取組内容とその効果

④　課題や今後の展望

以上の項目について、宇都宮市行政政策課、デジタル政策課より説明を受けた。

視察風景







○　大崎市

視察項目

『 世界農業遺産「大崎耕土」を活かした地域活性化と誇りある地域づくりの取組について 』

１　大崎市の概要

市制施行日　平成 18 年３月 31 日

人　　口　122,035 人

面　　積　796.81 ㎢

県北西部に位置し、市域は東西に約 80 ㎞と長く、山形県、秋田県と隣接。江合川と鳴瀬川が育んだ大崎耕土を有する日本有数の穀倉地帯で、コメの産出額は全国上位。ササニシキ、ひとめぼれなどの銘柄米は古川農業試験場で生まれ、「大崎耕土の伝統的水管理システム」は世界農業遺産に認定。精密機械工場なども集積し、電子部品製造業の製造品出荷額は全国屈指。

２　「世界農業遺産『大崎耕土』を活かした地域活性化と誇りある地域づくりの取組について」視察

日　　時　：　令和８年 10 月 16 日（金）　10 時 00 分 ～ 11 時 30 分

会　　場　：　大崎市役所　委員会室

次　　第　：　⑴　大崎市議会　伊勢健一副議長　挨拶

⑵　小泉宣子委員長　挨拶

⑶　大崎市　説明

⑷　質疑応答

⑸　大川敬太郎副委員長　挨拶

３　視察内容

⑴　世界農業遺産「大崎耕土」の保全と活用

①　世界農業遺産としての持続的な保全体制

ア　行政の担う役割

イ　住民や農業従事者の役割

⑵　地域活性化の取組

①　農業振興に向けた行政の取組

ア　大崎耕土のブランドを活かした農作物の生産や販売戦略

イ　新規就農支援策

ウ　スマート農業の普及・導入支援策

エ　農業従事者の所得向上のための支援策

② 観光振興に向けた行政の取組

ア　観光コンテンツの開発

イ　インバウンド需要への対応状況

ウ　周遊促進のための取組

③ 次世代へ継承する仕組みづくり

ア　次世代の人材を育成するための取組

イ　持続可能な好循環を生み出す行政の役割

⑶ 課題と今後の展望

以上の項目について、大崎市世界農業遺産未来戦略室より説明を受けた。

視察風景





